

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい＝ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」
にも市内のできごとを紹介しています。

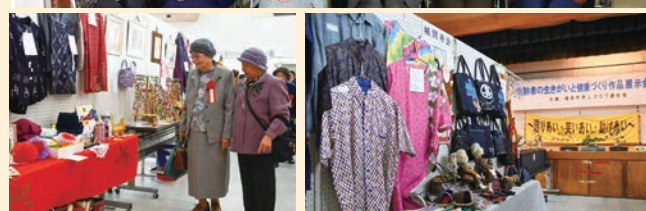


2/1・2/6 水難救助の協力者へ感謝状

水難事故で力を合わせて救助活動をした6人の功績を称え、消防表彰が行われました。

令和5年9月6日に西洲の海岸で発生した、事故発見後の連携による迅速な119番通報、海からの救出、安全な場所への移動など、人命救助に繋がる顕著な活動をしたとして、専門学生の上江洲亜美さん(20)、中村羅好希さん(19)、真和志高校3年の中村琉莞さん、南風原高校3年の赤嶺龍青さん、與那嶺太希さん、儀間朝斗さんに感謝状が贈られました。

儀間さんは「最初はパニックになり怖かったけど、みんなで落ち着いて救助することができてよかった。この経験を今後にも生かしていきたい」と話しました。



1/30 作品づくりで、ちゃ〜がんじゅう!

地域の高齢者の生きがいづくりの一つとして、趣味などで仕上げた作品を披露する「第51回高齢者の生きがいと健康づくり作品展示会」の開会式が中央公民館で行われました。今回の展示会には総勢201人、462点の作品が展示され、その中から90歳以上で作品づくりに参加した11人に記念品が贈られました。

市老人クラブ連合会の比嘉愛子会長は「この展示会が終わったら次は何を作ろうか、と皆さん次の制作に意気込んでいる。この目標や希望を持つことが健康で生き生き過ごすことに繋がっていて、作品一つ一つにもその思いが込められている」と感激した様子で話しました。



1/19 小学生男女、ハンドボール九州制覇!

昨年12月に鹿児島県で開催された第44回九州小学生親善ハンドボール大会で、男子の部で優勝した「当山ハンドボールクラブ」と女子の部で優勝した「リトルSun's」が、市長を表敬しました。

選手を代表して、当山ハンドボールクラブの浅野謙心さんは「九州のチームは体が大きかったけど、当たり負けせずにディフェンスを頑張って優勝することができた。沖縄の皆さんの応援のおかげです」と話し、松本市長は「浦添のチームが男女ともに優勝したことは大変素晴らしい。これからは追われる立場になると思うが、負けずに頑張って」と選手らを激励しました。



広報うらそえ11月号、8年連続全国広報誌コンクールへ推薦決定!!



2/10 浦添市教育委員会表彰式

旧正月の晴れの日、浦添市教育委員会表彰式がアイム・ユニバース てだこホールで開催されました。毎年2月の第2土曜日を「浦添市教育の日」と定め、学校生活で他の模範となり、スポーツや文化活動で優秀な成績を収めた児童・生徒や、本市の教育、文化、学術の振興発展に貢献した個人・団体を表彰し、今年は432人に賞状が授与されました。

受賞者の家族や関係者が見守る中、温かい雰囲気で行われた式典で、受賞者代表のあいさつをした港川小学校6年の砂川日菜多さんは、殺処分の対象となっている犬を保護する団体のボランティア活動への思いや、中学進学後の目標、将来の夢について力強く述べました。



1/31 高校生が考える「沖縄1やさしいまち浦添市」

陽明高校3年生が、福祉科の下地将生教諭のもと取り組んできた「地域防災リーダー養成プロジェクト」における学びの成果を松本市長に報告しました。

生徒らは、市の各担当課、包括支援センターや社会福祉協議会、まちプラ交付団体の高齢者支え合い部会 WAKIMIZU、訪問看護の事業所や福祉避難所等との意見交換などを通して気付いた改善点や要望をまとめ「防災にも特化したやさしいまち、浦添市を市長に託します」と熱い思いを発表しました。市長は「フレッシュな意見を届けてもらえてありがたい。これからもさまざまな視点から物事を考えるということが続けてほしい」と今後の成長を期待しました。



1/24 琉球漆器で、くわっちーさびら

学校給食の意義や役割について考え、より一層の充実・発展を目的に定めた全国学校給食週間にあわせて、市長や教育関係者らが牧港小学校を訪れ、6年生と琉球漆器によそった給食と一緒に食べました。給食の前に、特別授業として美術館館長による「琉球漆器」と栄養士による「琉球料理」についての講話が行われ、児童らは器の歴史や作り方、給食の材料の豚肉や島桑について学びました。

6年1組の高良潤さんは「縄文時代から使われている、琉球漆器の伝統を守り続ける沖縄を誇りに思った。琉球漆器で食べることで給食がよりおいしかった」と話し、いつもと違う雰囲気味わう給食を笑顔で完食しました。



1/11 垣花健さん 瑞宝双光章受章

浦添市の保護司として約30年間活動している垣花健さんが、これまでの功績から「令和5年度秋の瑞宝双光章」を受章し、市長を表敬しました。

保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りや、犯罪予防活動などを地域で支え、社会復帰する環境への働きかけなどを行っている法務省から任命された非常勤の国家公務員(ボランティア)です。1月24日には、受章祝賀会も開催され、垣花さんは「保護司として関わりのあった少年が何年後に声をかけてくれた。彼の成長がとても嬉しかった。人は、認められ大事にされる経験が必要だ。そのような環境や安心できる場を作っていくことを目標にこれまで活動してきた」と振り返りました。